様式1－3（統一栽培暦様式）

もっと安心農産物　春菊栽培暦

令和8年

JAちばみどり旭露地野菜部会　もっと安心生産班

1．土づくり

完熟推肥を必ず使用し土作りを行なう。（入手先、原料の確認出来る物）

2.施肥　（化学肥料由来の窒素成分は、11．5kg以下）

	肥料名（N-P-K）			施肥量（10a）	備考
基肥	選択	・ 有機アグレット825eco	（8-2-5　有機100％）	300kg	土壌診断により 施肥量の増減 ＊有機配合は栽培に合わせ選択する＊
		・ 夢 ぼ か し	（6-5-3　有機100％）		
		・ ジャストフィット（化成窒素1.2％）	（7-3-1）		
		・ アミノ有機ペレット	（5-6-4）		
		・ ちばみどり有機888（有機40％）	（8-8-8）	200kg	
		・ くみあい化成8号	（8-8-8）	100kg	
	サムライ・ドラゴン・レインボー　コート　（16-8-12）			80kg	
	K-1加里33（加里33％・硫黄10.7％石灰10.2％苦土4.1％ホウ素0.14％）			60kg	
	マリンスピリッツ（く溶性リン酸9％・水溶性加里4％・くよう性苦土6％＋海水中のミネラル）			100kg	
	みどりマグ（苦土20％）			100kg	
	粒状サンライム（アルカリ分46％）			120kg	
	粒状カキテツ（アルカリ分46％）			60kg	
	畑のカルシウム（硫酸カルシウム 28.6％）			120kg	
	サポタン（粒状）			100kg	
	ソクダン（土壌団粒促進剤）			100kg	
	レオグリーン特号(圧縮堆肥)			200kg	
	作どん(フミン酸資材)			200kg	
	レスキュー（ケイ酸鉱物質資材）			105kg	
追肥	有機	選択	・ 有機アグレット825eco	（8-2-5　有機100％）	20～40kg	1作あたりの使用上限なし
			・ 夢 ぼ か し	（6-5-3　有機100％）		
			・ アミノ有機ペレット	（5-6-4）		1作あたりの使用上限あり
			・ ジャストフィット（化成窒素1.2％）	（7-3-1）		
			・ ミラクルアミノ（化成窒素5.8％）	（10-0-4.5）		
			・ ちばみどり有機888（有機40％）	（8-8-8）		
	化成	＊くみあい化成8号		（8－8－8）	20～40kg	
	液肥	アミアタック		（6－5－5）	20～40kg	
		はつらつ君		（6ー6ー6）	20～40kg	
		グット・アミノ1号		（8－3－2）	20～40kg	
		トーシンCa		（4－2－2）	20～40kg	
		トーシンCa　2号		（2－3－3）	20～40kg	
		トミー液肥グリーン		（6－8－8）	20～40kg	
		トミー液肥ブラックネクサス		（10－4－6）	20～40kg	
葉面散布	カルマグホウ素PK			1000倍	葉先枯、芯グサレ対策、生育促進
	A-Zサプリ			1000倍	
	ビッグマグ			1000倍	
	B作			1000倍	
	カルタス			1000倍	
	セルキープ			1000倍	
	ボロンセブン			1000倍	
	メリット青　（7-5-3）			1000倍	
	サポタン（液）			1000倍	生育促進、成り疲れ、残留硝酸窒素対策
	フルボ鉄			1000倍	
液肥潅水				1ﾘｯﾄﾙ/10a	寄生センチュウ、連作障害対策、発根促進

（注）液肥潅水設備がなく、＊くみあい化成8号のみで追肥を行う場合、1作あたりの使用上限は140kgとなります。
（元肥で化成分が入っていない場合）

3.防除　（　化学合成農薬使用成分回数は、8回以内にする。　）

月/旬	作業	病害虫の発生時期	薬剤名	濃度・使用量	使用時期	備　　考
7～8月	土壌消毒		① バスアミド微粒剤	20kg/10a	播種21日前	○ 夏季太陽熱消毒もしくは土壌還元消毒の実施
			② カルホス微粒剤F	6kg/10a	定植時	
9月	播種育苗		③ ストロビーフロアブル	3000倍	収穫14日前	○ 育苗ハウスは防虫ネットを張り、害虫の侵入を防ぐ
10/上	移植	アブラムシ アメハモグリバエ ヨトウ類 炭そ病・べと病	④ ベストガード粒剤	9kg/10a	定植時	○ 定植時または生育期のみ使用可能なので直播きで土壌混和させるのは使用できないので注意。
10/中			⑤ アファーム乳剤	2000倍	収穫7日前	**害虫対策** ○ ハウスの喚起、出入口には、ネットを張り外部からの害虫の侵入を防ぐ。
10/下			⑥ アミスター20フロアブル	2000倍	収穫前日	○ ハウス周辺の雑草は害虫の棲みかになるおで除草を実施する。
			⑦ ウララDF	4000倍	収穫前日	○ 粘着板を吊るし害虫を捕殺する。（ハモグリバエ防除イエロー）
11/上			⑧ ディアナSC	2500～5000倍	収穫前日	○ ハウス内で 春菊以外の作物を作らない。
11/中						**病害対策** ○ 病害発生株は直ちに抜き取り、圃場外に穴を掘って埋める。
12月	収穫始め					○ 灌水を一度多量に行うと菌核病、炭そ病が発生するので、低圧少量で回数を増やす。
1月						○ 菌核病、炭そ病は地表面の病原菌が灌水で土壌から跳ね上がり感染する。また、ハウス内の湿度が高くなると蔓延しやすいので、適度に喚起を行う。
2月						
3月						○ 株が混みあうと菌核病が発生しやすいので、株間は広めにとり、株元の通風をよくする。

備考	病害虫の発生状況により選択 ＊化学農薬にカウントされるもの＊ ★バスアミド微粒剤　(20kg/10a、播種21日前：土壌混和、1回)……一年生雑草・萎凋病 ★カルホス微粒剤F(6kg/10a、定植時：土壌混和、1回)……ネキリムシ ★ベストガード粒剤　(9kg/10a、定植時：土壌混和、1回)……マメハモグリバエ・アブラムシ・コナジラミ類 ★ガードベイトA　(3kg/10a、生育初期：株元散布、2回)……ネキリムシ ★アファーム乳剤　(2000倍、収穫7日前、2回)……アザミウマ類・ハモグリバエ類・シロイチモンジヨトウ ★アクタラ顆粒水溶剤(2000倍、収穫14日前、3回)……アブラムシ類・ナモグリバエ ★ウララDF(4000倍、収穫前日、2回)……アブラムシ類 ★エビセクト水和剤(2000倍、収穫14日前、2回)……マメハモグリバエ ★カスケード乳剤　(2000～4000倍、収穫7日前、2回)……アザミウマ類・ヨトウムシ・ハスモンヨトウ・マメハモグリバエ ★グレーシア乳剤乳剤　(2000～3000倍、収穫7日前、2回)……ハスモンヨトウ・シロイチモンジヨトウ ★コテツフロアブル　(2000倍、収穫14日前、2回)……ハスモンヨトウ ★スタークル顆粒水溶剤(アルバリン)　(3000倍、収穫前日、2回)……アブラムシ類 ★ディアナSC(2500～5000倍、収穫前日、2回)……オオタバコガ・ハスモンヨトウ・ハモグリバエ類 ★プレオフロアブル　(1000倍、収穫前日、2回)……ハスモンヨトウ ★モスピラン顆粒水溶剤(8000倍、収穫3日前、2回)……アブラムシ類 ◎アミスター20フロアブル　(2000倍、収穫前日、2回)……炭疽病 ◎ストロビーフロアブル　(3000倍、収穫14日前、3回)……炭疽病 注意　化学合成農薬として使用成分回数にカウントされるため、防除欄記載農薬との選択により活用してください。 ＊化学農薬にカウントされないもの＊ ★サフオイル乳剤　(300倍、前日、制限なし)……コナジラミ類・ハダニ類・チャノホコリダニ・うどんこ病 ★ムシラップ　(500倍、前日、制限なし)……アブラムシ類・コナジラミ類・ハダニ類・うどんこ病 ★フーモン(1000倍、前日、制限なし)……アブラムシ類・ハダニ類・コナジラミ類・うどんこ病 注意　水分中の石灰分によっては汚れに注意が必要。 ◎コサイド3000　(2000倍、制限なし、制限なし)……軟腐病・黒腐病・斑点細菌病 ◎ドイツボルドーA　(1000倍、制限なし、制限なし)……べと病・軟腐病 ◎Zボルドー　(500倍、制限なし、制限なし)……べと病・軟腐病・黒腐病 ◎カリグリーン水和剤　(1000倍、前日、制限なし)……灰カビ病・さび病・うどんこ病 ◎ジーファイン水和剤　(1000倍、前日、制限なし)……軟腐病・白さび病・うどんこ病 ◎ハーモメイト水溶剤　(800～1000倍、前日、制限なし)……うどんこ病・灰色かび病・さび病 ★エスマルクDF　(1000倍、前日、制限なし)……オオタバコガ・ヨトウムシ・アオムシ・コナガ ★ゼンターリ顆粒水和剤　(1000倍、前日、制限なし)……アオムシ・コナガ・ヨトウムシ ★デルフィン顆粒水和剤　(1000倍、前日、制限なし)……オオタバコガ・ヨトウムシ